

2018年度

環境経営レポート

(2018年4月～2019年3月)



株式会社 ENJEC

2019年5月7日

目 次

1.	組織の概要	2
2.	対象範囲	2
3.	環境経営方針	3
4.	環境経営目標の設定	4
5.	主要な環境経営計画の内容	5
6.	環境経営目標の実績と中期の目標	6
7.	実施体制	8
8.	本年度の取組結果とその評価	10
8.1	二酸化炭素排出量の削減	11
8.2	廃棄物排出量の削減	11
8.3	水使用量の削減	11
8.4	地域の環境保全活動への貢献	12
8.5	化学物質使用量の削減	15
8.6	グリーン購入の推進	15
8.7	サービスの環境配慮	15
8.8	エコアクション21の広報活動	15
9.	次年度の環境経営目標及び環境経営計画	16
10.	環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価結果並びに 違反、訴訟などの有無	17
11.	代表者による全体評価と見直し結果	18

1. 組織の概要

- 1.1 事業所名 株式会社 ENJEC (エンジェック)
代表者名 代表取締役 津村 英介
設立 1977 年 10 月 14 日
- 1.2 所在地 〒815-0075 福岡市南区長丘 3 丁目 1-18 新日環ビル
- 1.3 環境管理責任者 技術部長 木村 健
担当者氏名 総務顧問 山崎 仁子
技術顧問 徳永 隆司
連絡先 TEL (092) 561-8716 FAX (092) 561-4791
E メールアドレス shinnihon@enjec.com
URL <http://www.enjec.com>
- 1.4 事業の内容 環境及び飲料水等に関する分析・測定・検査・調査並びに試験研究業務
- 1.5 事業の規模 事業年度 4 月～翌年 3 月 資本金 1,000 万円

	2016 年	2017 年	2018 年
売上高 (万円)	37,880	38,950	44,600
従業員数 (人)	41	41	44
床面積 (m ²)	1245	1245	1245

2. 対象範囲

- 2.1 事業者 株式会社 ENJEC
- 2.2 事業活動 環境及び飲料水等に関する分析・測定・検査・調査並びに試験研究業務
- 2.3 対象事業所 〒815-0075 福岡市南区長丘 3 丁目 1-18 新日環ビル

3. 環境経営方針

環境経営方針

制定日 2008年4月1日

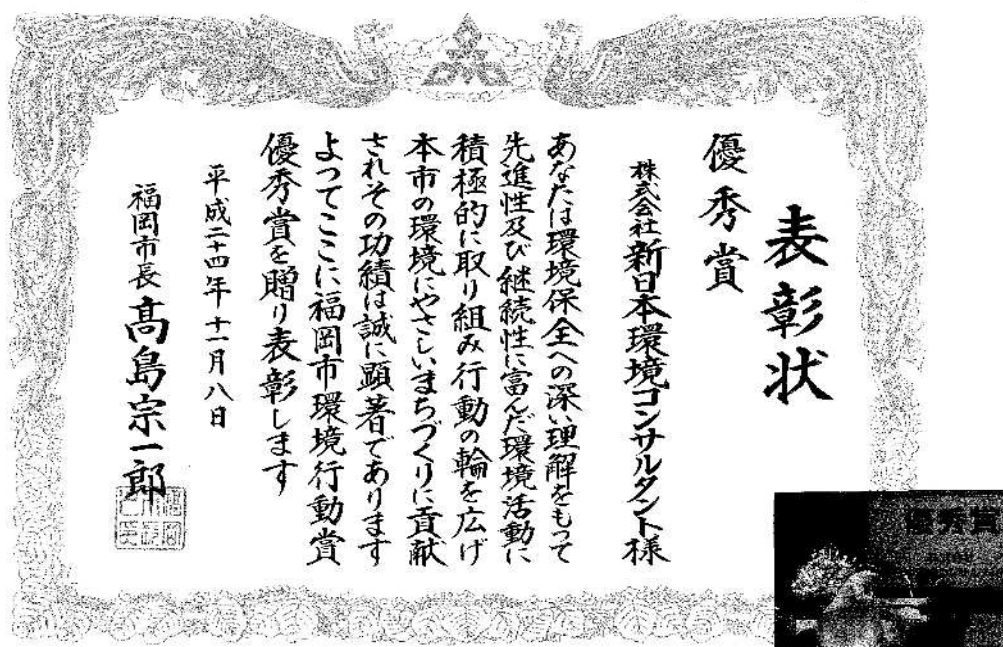
改訂日 2018年4月1日

地球環境を守ることが私たちの使命であること、そして当社が環境関連の事業を行っていることを自覚し、環境に配慮した安定した経営を目指します。そのため、関連法規を遵守することはもとより、地域の環境保全や生物の保護活動に参加します。また、以下の活動により、環境負荷の継続的な削減と企業の持続的な発展を目指し、改善して行きます。

1. 品質の高度化と安定した利益確保のため、環境資格の取得による人材の育成と環境に配慮した最新機器の導入に努めます。
2. 水道、光熱費等の経費削減をとおして二酸化炭素の排出量を削減します。
3. 経費削減の一環として、廃棄物の削減、リサイクル、グリーン購入、化学薬品の使用量の削減等に努めます。

株式会社 ENJEC

代表取締役 津村 英介



環境行動賞 表彰状

4. 環境経営目標の設定

環境負荷の自己チェック結果及び環境取組のチェック結果に基づき、環境経営目標選定・決定表を作成し、その結果から環境経営目標を設定しました。また、2018年度に売上3%増を掲げたことから、運用の基準年は基礎となった2017年度としました。

「二酸化炭素排出量の削減」については、当社の排出源として、自動車の燃料の使用、都市ガス及び電気の使用があります。自動車の燃料については、業務の範囲が九州一円で、毎年、自動車の走行距離が大きく異なること、また、都市ガスについては湯沸器に使用する程度で、使用量が少ないため、自動車用燃料と都市ガスについては、数値目標を掲げないこととしました。なお、自動車の燃料については、2016年度から単位燃料当たりの走行距離の記録とエコ運転に取り組んでいます。二酸化炭素排出量の削減目標量は使用エネルギーすべての総量で2017年度を基準年とし、売上3%増を経営目標として掲げたことから、前年度以下、取組目標としての電力使用量も前年度以下としました。

「廃棄物排出量の削減」については、廃液・汚泥の排出量の削減を前年度以下及び古紙リサイクル率（上質紙のリサイクル量 / 紙購入量）を25%以上として取り組みました。

「水使用量の削減」については、下水道放流であることから給水量の削減を目標とし、2017年度を基準年に設定して、前年度以下としました。

また、当社が水質、大気などの環境関連の計量業務を行っていることから、引き続き、「地域の環境保全への貢献」を目標に掲げ、地域の井戸水の無料検査、社員の環境資格の取得、社屋の緑化、公園の清掃活動及び天然記念物のツクシオオガヤツリの保護活動を実施しました。

化学物質使用量の削減については、PRTR 試薬の年間使用量の削減並びに毒物及び劇物の保有種類数の削減に取り組みました。

その他、グリーン購入の促進にも2017年度を基準年に設定して、前年度比1%増として取り組みました。

5. 主要な環境経営計画の内容

環境活動の実行については、「エコアクション活動手順書」を作成し、それを基に活動しました。主な活動の内容は以下の通りです。

5.1 二酸化炭素排出量の削減（前年度以下）のための取組

購入電力量の削減（前年度以下）

- ② エアコンの適温化の徹底
- ② 昼光の利用、不在時の消灯、昼休みの消灯及び LED 化
- ③ 連続運転機器の見直しと適正運転

自動車のエコ運転活動

5.2 廃棄物排出量の削減のための取組

古紙リサイクル率（25%以上）、紙購入量の削減及び紙類のリサイクルの推進
廃液・汚泥の減量化

- ① 廃棄物の法令に基づく適正処理の実施
- ② 廃液・汚泥の減量化（前年度以下）

5.3 水使用量の削減のための取組

節水の実施（前年度以下）

- ① 節水活動の推進

5.4 地域の環境保全活動への貢献

環境活動への参加と環境資格の取得

- ① 大濠公園の環境活動
- ② 社屋の緑化
- ③ 社員の環境資格取得の支援
- ④ 地域の井戸水の無料検査
- ⑤ 希少水生植物のツクシオオガヤツリの保護活動
- ⑥ NPO 支援(海の底泥の浄化活動)

5.5 化学物質使用量の削減

- ① PRTR 試薬の使用量の削減
- ② 毒物・劇物の保有種類数の削減

5.6 グリーン購入の推進

グリーン製品購入量の増加（前年度比 1%増）

5.7 サービスの環境配慮

分析方法の見直し（少量化、低毒化）

5.8 エコアクション 2.1 の広報活動

環境経営レポートの作成、公表

6. 環境経営目標の実績と中期の目標

表1に本年度（2018年4月～2019年3月）及び過去2ヵ年について、E A 21を運用した結果及び2017年度を基準年とし、積極的に「環境経営」を取り込んだ時の、2021年度の中期目標値を示します。

中期目標は「環境経営」の目標として「毎年3%の売り上げ増」があるために「CO₂排出量の削減」等についての中期目標値は前年度の実績値以下となっています。この目標値に向けて削減に取り組んでいきます。自動車の燃料については、今年度も単位燃料当たりの走行距離を記録し、改善を進めると共にエコ運転活動を積極的に推進します。

「廃棄物排出量の削減」については、古紙リサイクル率（上質紙のリサイクル量／購入した上質紙の重量）25%を目標に取り組んでいきます。

「廃液、汚泥の減量」については、排出量の年度毎の変動が大きく、前年度以下という目標の達成ができない年度が出てくることもあります。その大きな原因は「河床材料調査」や「土壌汚染調査」によって持ち込まれる土砂や土壌が廃棄物として排出されるためです。このことから、分析必要量を厳密に想定し、廃棄物の排出削減につなげて行きます。

「水使用量の削減」については、業務量に比例して水道使用量も増加しますが、可能な限り削減していきます。

「地域の環境保全への貢献」については、地域の井戸の無料検査や大濠公園の清掃活動への参加等を継続して実施していきます。

「化学物質使用量の削減」については、これまでに実施してきた使用量と種類の保有量では、非常に手間がかかるため、2019年度から、売り上げ当たりの購入量で管理していきます。

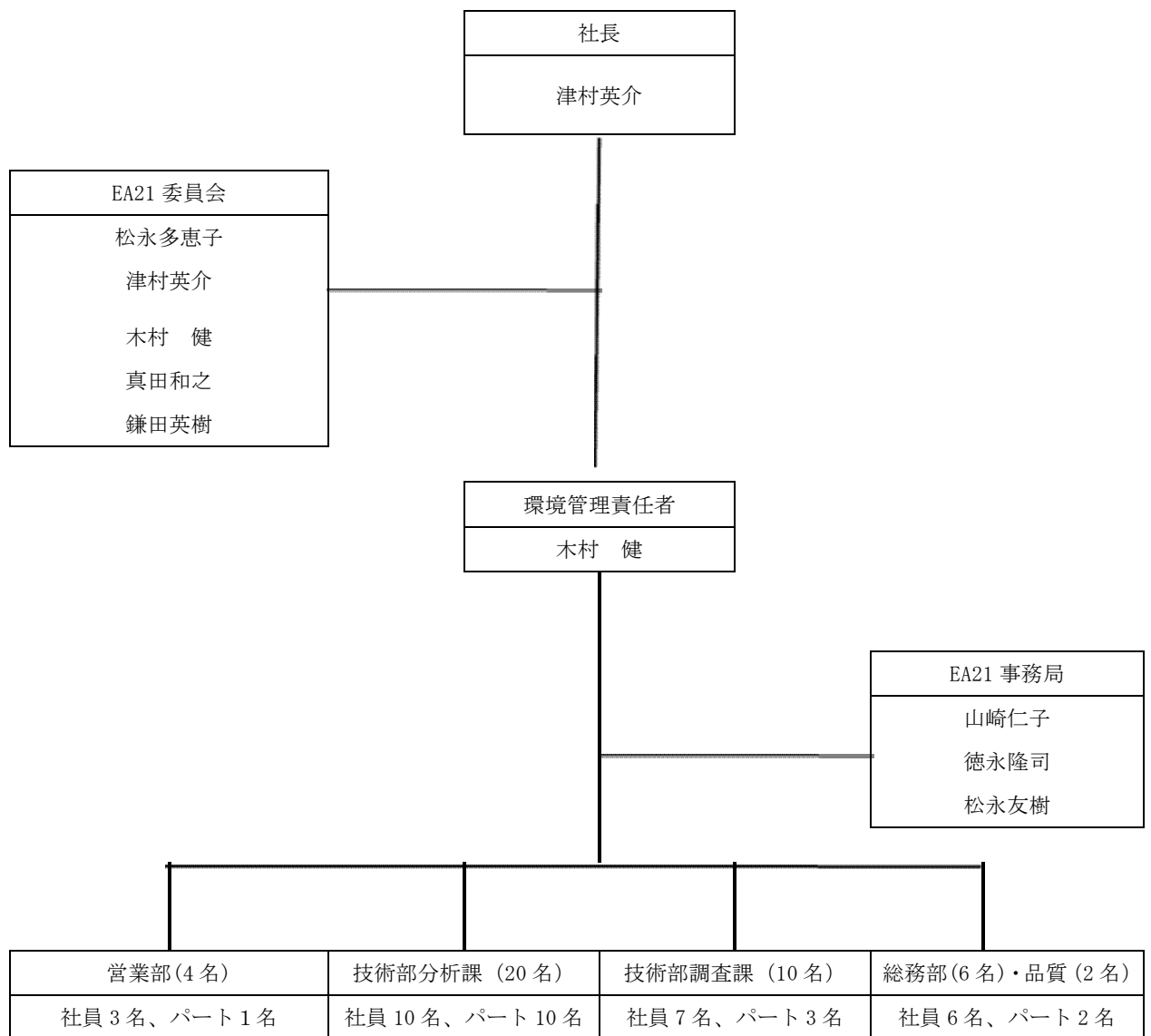
その他、「グリーン購入の推進」については、机、ロッカー等の大型文具類の購入が毎年減少し、購入量が徐々に減少していることから、数値目標を廃止し、努力目標として、「環境コミュニケーション管理記録」で実施状況を管理していきます。

表 1 3 年間の実績と中期目標

環境経営 目標	取組目標		2016 年度	2017 年度	2018 本年度	中期目標 2021 年度
CO ₂ 排出量の 削減	購入電力量を含む 省エネ 総量(CO ₂ kg)	目標	166,761	165,093	171,828	前年度 以下
		実績	164,787	171,828	167,178	—
	購入電力量の削減 電力量 (kWh)	目標	224,201	220,839	257,490	前年度 以下
		実績	247,230	257,490	226,674	—
廃棄物排出量 の削減	古紙リサイクル率 (%)	目標	95 以上	25 以上	25 以上	25 以上
		実績	273	20.5	57	—
	廃液・汚泥の減量 処分量 (kg)	目標	5,603 以下	7,089 以下	10,982 以下	前年度 以下
		実績	7,089	10,982	8,229	—
水使用量の 削減	節水の実施 水量(m ³)	目標	1,906	1,878	2,581	前年度 以下
		実績	2,235	2,581	2,671	—
地域の環境保 全への貢献	地域環境活動 への参加 (点)	目標	30 以上	30 以上	30 以上	30 以上
		実績	48	44	40	
化学物質使用 量の削減	PRTR 薬品の使用 量の削減 量(g)	目標	5,650 以下	5,880 以下	5,560 以下	—
		実績	5,880	5,560	5,710	—
グリーン購入 の推進	製品購入額の増加 (+1%) 額 (円)	目標	707,627	718,242	542,618	—
		実績	675,408	537,246	566,008	—
サービスの環 境配慮	分析試薬の低毒化 実施数 (件)	目標	1 以上	1 以上	1 以上	1 以上
		実績	1	1	1	—

二酸化炭素の排出係数は調整後排出係数の 0.483 (九州電力 2016 年) を使用

7. 実施体制



役割分担表

氏名	所属	役割
津村英介	代表取締役	全体統括、環境経営方針の設定、環境への取り組みを実施するための資源の準備、全体の評価と見直し
木村 健	環境管理責任者	環境管理責任者として、環境経営システムを構築し、運用し、その状況を社長及び EA21 委員会に報告する。
津村英介	EA21 委員会	3 ヶ月に 1 回、委員会を開催し、環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実行状況を審議する。
山崎仁子	EA21 事務局	法規等遵守状況の把握・管理
山崎仁子	総務部	使用電力・水道量の管理、使用紙量・リサイクル紙量の管理
真田和之	営業部	環境活動の推進
松永友樹	EA21 事務局	EA21 の活動、全般
徳永隆司	EA21 事務局	環境経営レポートの作成 EA21 文書・記録の維持・管理及び記録類の作成等
その他、全従業員		環境経営方針の理解、取り組みの重要性の自覚 環境活動への自主的、積極的な参加

8. 本年度の取組結果とその評価

本年度（2018 年度）の取組結果を表 2 にまとめて示します。

表 2 本年度の取組結果

環境経営 目標	取組目標	基準値 2017 年度	目標値 本年度	実績値 本年度	判定
CO ₂ 排出量の 削減	購入電力量を含む省エ ネ（前年度以下） 総量(CO ₂ kg)	171,828	171,828 以下	167,178	○
	購入電力量の削減(前年 度以下) (kWh)	257,490	257,490 以下	226,674	○
廃棄物排出量 の削減	上質紙リサイクル率 (25%以上) (%)	25 以上	25 以上	57	○
	廃液・汚泥の減量（前年 度以下）処分量 (kg)	10,982	10,982 以下	8,229	○
水使用量 の削減	節水の実施（前年度以 下）水量(m ³)	2,581	2,581 以下	2,671	×
地域の環境保 全への貢献	地域環境活動 への参加（点）	30	30 以上	40	○
化学物質使用 量の削減	PRTR 薬品の使用 量の削減（前年度以下） 量(g)	5,560	5,560 以下	5,710	×
グリーン購入 の推進	製品購入額の増加 (+1%) 額（円）	537,246	542,618 以上	566,008	○
サービスの環 境配慮	分析試薬の低毒化・ 実施数（件）	1	1 以上	1	○

8.1 二酸化炭素排出量の削減

本年度の購入電力量は目標値の12%減となりました。4月に全館の蛍光灯をLED化した効果によるものと考えます。冬季はさらに補助の暖房器具を見直すことにより、前年度比で20%近くを削減することができました。

写真1に示す電力デマンド監視装置を導入し、電力使用量を削減する活動も実施しています。



写真1 電力デマンド監視装置

8.2 廃棄物排出量の削減

古紙リサイクル率（上質紙のリサイクル量 kg／上質紙の購入量 kg）25%以上で取り組み、結果は57%と十分達成することができました。昨年度は20%で未達成でしたので、大きく改善しました。紙類のリサイクル活動については、ダンボール紙等を含めて、福岡県中小企業家同友会、地球環境問題委員会が実施している古紙回収活動に参加しています。

一方、廃液・汚泥の減量化では、前年度の75%で、目標の前年度以下を達成することができました。廃棄物となる過剰な量の検体を持ち込まないように努力した成果だと考えます。

8.3 水使用量の削減

水道水の購入量は前年度に引き続き増加しました。土壌の粒度分布の分析に大量の水を使用することから、一回の分析に必要な水量を測定し、削減方法を検討することにより、増加量を3%程度に抑えることができました。今後も、目標を達成するため、分析方法の改善を含めて、無駄な水の使用がないか、さらに一段の厳しい管理を実施します。

8.4 地域の環境保全活動への貢献

8.4.1 地域環境活動への参加

大濠公園（写真2、写真3）の清掃活動及びツクシオオガツリの調査などの地域環境活動に、のべ20名が参加しました。大濠公園の環境活動としては、毎月1回、実施されている大濠公園クリーンアップ隊の清掃活動に、毎回、2名ずつの参加を目標としています。

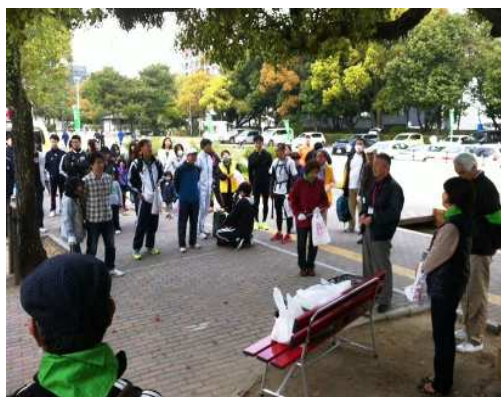


写真2 大濠公園の清掃（1）



写真3 大濠公園の清掃（2）

8.4.2 社屋の緑化

5月から9月の間、社屋の南側のガラス面に緑のカーテンとして、本年度はヘチマとアサガオを栽培し、社屋の緑化を実施しました（写真4）。ヘチマとアサガオは壁面に沿って良く繁茂し、建物の遮光効果に役立ちました。昨年、緑のカーテンの外側と内側の気温差を測定し、快晴時に最大の4℃を観測しました。



写真4 琉球アサガオとヘチマによる壁面緑化

8.4.3 社員の環境資格の取得支援

「エコアクション活動手順書」に社員が環境資格を取得する際の講習会への参加費、受験費の支援、また、資格を取得した際には「資格手当への支給」を明文化するなど、社員の環境資格取得の支援を行っています。環境資格の取得は本人と当社のみならず、広い意味での社会の環境保全にとって有意義なことと考えており、毎年、支援を続けていく予定です。本年度では、生物分類技能検定者1名、臭気判定士1名、小型船舶操縦士2名の計4名が有資格者となりました。

当社で指定している資格は以下のとおりです。①技術士、②技術士補、③環境計量士（濃度、騒音、振動）、⑤作業環境測定士、⑦臭気判定士、⑧放射線取扱主任者、⑨特別管理産業廃棄物管理責任者、⑩水道技術管理者、⑪土壤汚染調査技術管理者、⑫小型船舶操縦士、⑬生物分類技能検定

8.4.4 地域の井戸水の無料検査

当社が水質分析を業務としていることから、地域の井戸水の無料検査を環境活動として毎年実施しています。2018年3月31日に地域のコミュニティ紙「まいんず」(写真5)で無料検査の募集を行ったところ、41件の依頼がありました。

依頼者から写真6のようなお礼の手紙を頂くなど、地域との繋がりができると共に当社のPRにもなっていると考えています。

2018年（平成30年） 3月31日

地域の井戸水を無料で水質検査（4月末迄）
環境に貢献する（株）ENJEC（エンジエック）

浄水器を設置したり、ペットボトル入りの水を買ったり、おいしい水を安心安全の水“への関心が高まる昨今、井戸水はおいしいと思うのだけれど、飲み水として大丈夫なのか心配という井戸のある家庭に、今年も無料検査の朗報が。長丘3丁目では飲料水質検査や環境調査を専門とする（株）ENJECが、この地で長年仕事で、創業41周年を迎え、この地でも地域貢献できるのも地域あつてこそ、そこでわれわれの専門性を生かせる技術で地元へ恩返しをしようという無料検査を今後も続けていきたいと思っています。

募集 パート(初心者大歓迎) 3名募集
分析アシスタント
検査助手・簡単なエクセル入力など

◆時 給 820円～
◆時 間 9:00～17:30(昼休みあり)
◆勤務日 月～金曜(土日祝休み)
*まずはお気軽にお電話下さい。(担当:谷崎)

サニー長丘店
新日環ビル
「かつ」番地
長丘3丁目
七隈 ～大池通り～ 野間

(株)ENJEC
【問合せ】 ☎092-561-8716
南区長丘3-1-18新日環ビル

水質検査
検査は、理化学試験11種と細菌試験2種の13項目にわたり、通常依頼すると約1万円かかるもの。今回の井戸水無料検査は、事前に電話で「まいんずを見た」と告げると専用の容器を貸してもらえるので、それに自宅の井戸水を採取して同社に持ち込めば検査をしてくれる。結果は1週間ほどでわかるという。工事や地震で水脈が変わることもあり、この機会に無料検査を受けてみませんか。ただしこれは個人宅が対象ですので、業者の方はご遠慮ください」と同社では話している。

これまで10月に行なっていました。昨年度より4月に実施しております」と同社の松永会長。

検査は、理化学試験11種と細菌試験2種の13項目にわたり、通常依頼すると約1万円かかるもの。今回の井戸水無料検査は、事前に電話で「まいんずを見た」と告げると専用の容器を貸してもらえるので、それに自宅の井戸水を採取して同社に持ち込めば検査をしてくれる。結果は1週間ほどでわかるという。工事や地震で水脈が変わることもあり、この機会に無料検査を受けてみませんか。ただしこれは個人宅が対象ですので、業者の方はご遠慮ください」と同社では話している。

写真5 井戸水の無料検査の募集

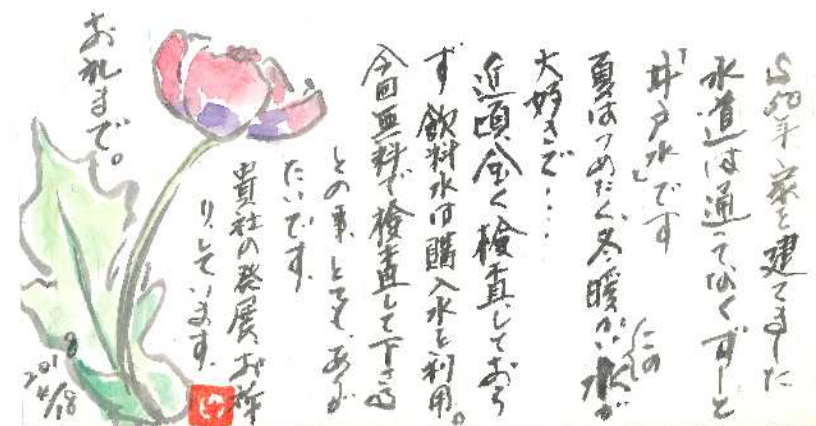


写真6 井戸水の無料検査の礼状

8.4.5 希少水生植物のツクシオオガヤツリの保護活動

ツクシオオガヤツリはカヤツリグサ科の湿地植物で、福岡県指定天然記念物、環境省レッドデータブック絶滅危惧種 IB 類に指定された植物です。福岡市の大濠公園に隣接する小さな池の群落が天然記念物に指定されています。ツクシオオガヤツリは中国の宗との貿易の際に博多に着いた荷物に種子がついてきたものだと言われています。この植物の保護を目的にして、福岡市内の池、沼での分布状況の調査を行っています。分布調査の中では、新たな繁茂池を発見するなどの成果をあげています。



写真7 ツクシオオガヤツリ



写真8 野間大池のツクシオオガヤツリ

8.4.6 NPO の支援

海域の底泥の浄化を課題に掲げて活動している NPO 法人に協力し、実験器材の貸出しやアドバイス等を行っています。浄化手法は光合成硫黄細菌を利用す

るもので、これまでに実施事例がなく、全く新しい方法として期待されています。



写真9 NPOの活動（干潟の浄化）



写真10 光合成紅色硫黄細菌

8.5 化学物質使用量の削減

P R T R薬品の使用量の削減は目標値の 2.6%増で、達成できませんでした。薬品の使用量は分析方法が公的に定められていることから、削減が難しい面がありますが、分析方法の改善を含めて努力して行きます。「毒・劇物の保有種類数の削減」については、達成することができました。全く使用実績がない薬品を廃棄し、保有種類数を減らすように努力します。

8.6 グリーン購入の推進

目標を昨年度の実績の 1%増として取り組み、結果は目標値の 4.3%増で、達成することができました。エコ商品のリストを見直すなど一段と購入品のエコ化を進めていきます。

8.7 サービスの環境配慮

取組目標として「分析試薬の少量化、低毒化」を掲げ、年間に1件以上、必ず取り組むこととしています。本年度は、分析に使用する有機溶剤のベンゼンをトルエンに変更し、低毒化する見直しを実施しました。

8.8 エコアクション21の広報活動

2018年度版環境経営レポートを2019年5月7日に作成し、EA21地域事務局を通して公開すると共に当社の取引先や来客者に配布します。また、当社のホームページで公開します。2019年度版環境経営レポートは2020年5月に発行し、公表します。

9. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

2018 年度から、毎年、売上の 3%増を設定したことから、CO₂ 排出量や水使用量等の削減目標は 2017 年を基準年にして、いずれも前年度以下にしました。なお、グリーン購入の推進については、机、ロッカーなどの大型文具類の購入が少なくなったため、数値目標から努力目標とし、「環境コミュニケーション管理記録」で実施状況を管理することとしました。

表 4 次年度の計画目標値

環境経営 目標	取組目標	単位	基 準 年 (2017 年)	2019年度
CO ₂ 排出量 の削減	購入電力量の 削減を含む省 エネ (前年度以下)	年間総量 (CO ₂ kg)	171,828	167,178 以下
	購入電力量の 削減 (前年度以下)	年間電力量 (kWh)	257,490	226,674 以下
水使用量 の削減	節水の実施 (前年度以下)	年間総量 (m ³)	2,581	2,671 以下
廃棄物 排出量 の削減	廃液・汚泥の 減量化 (前年度以下)	処分量 (Kg)	10,982	8,229 以下
化学物質 使用量 の削減	PRTR 物質の 削減 (前年度以下)	年間購入量÷ 売り上げ (Kg/千万円)	—	10.7
	毒物・劇物の 削減 (前年度以下)	年間購入量÷ 売り上げ (Kg/千万円)	—	10.3

10. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価結果

並びに違反、訴訟などの有無

当社に係る環境関連法規の内容と遵守状況を確認した結果を表5に示します。表5に示すように、問題はなく、過去3年間に於いても法規違反事例はありません。また、関係機関などからの指摘、利害関係者からの訴訟や苦情もありません。

表5 当社に係る環境関連法規と遵守状況の概況

法律名等	対象設備・作業等	確認日	手段	確認
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・処分先の確認	6月27日	電話	○
	・適正保管	6月27日	現場	○
	・マニフェストの管理	6月28日	帳簿	○
下水道法	・測定の結果報告	6月28日	記録	○
毒物及び劇物取締法	・試薬の管理	6月28日	帳簿	○
	・毒劇物の表示	6月28日	現場	○
悪臭防止法	・苦情の有無	6月28日	記録	○
消防法	・設備基準	6月28日	現場	○
	・点検結果	6月28日	帳簿	○
放射線同位元素等による放射線障害の防止に関する法律	・表示の状況	6月29日	現場	○
	・放射線の測定	6月29日	記録	○
フロン排出抑制法	・適正処分	6月29日	記録	○
	・簡易点検の実施	6月29日	記録	○
水質汚濁防止法	・地下水汚染防止	6月28日	記録	○
労働安全衛生法	・作業環境の測定	12月20日	帳簿	○
	・健康診断	10月2日	記録	○

1 1. 代表者による全体評価と見直し結果

2019年4月の「定期的見直し」での評価及び指示内容は以下のとおりでした。

「環境経営方針は社員に良く理解され、適切に実施されている。電気量については、LED化により改善が認められたが、水使用量については、さらに努力して欲しい。次の改善がなかなか難しいと思いますが、PDCAを旨く回していくことを期待します。」

以上の評価及び指示に基づき、毎週、月曜日の朝の全体会議の中で、社員全員のアイデアを汲み上げながら活動して行きます。



住民協働 環境教育の感謝状（2018年12月）